



GCNJ コレクティブ・アクション 2030 宣言書

当社は、一人ひとりの強みや個性が最大限発揮され、誰もが Well-being を実感できる社会にすることを目指し、志を共にするグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン会員企業と協働し、下記の課題を解決することに賛同します。

I 働く場所・時間に制約のある社員が公平に力を発揮できる環境を整える

II 性別を問わず、誰もが当事者として家事・育児・介護に参画する環境を整える

上記の課題を解決するために、当社は以下のアクションを実行することを宣言します。

アクション I・II は別紙に記載

2025 年 1 月 28 日

ソフトバンク株式会社
代表取締役 社長執行役員 兼 CEO

宮川 潤一

I

- ・IT や AI を駆使し効率的な働き方を推進
- ・コアタイムのない「スーパーフレックスタイム制」を導入
- ・出社・在宅勤務・サテライトオフィス勤務などを組み合わせたベストミックスの働き方で 組織と個人のパフォーマンスを最大化
- ・テレワークでもコミュニケーションツールを充実させ、円滑なコミュニケーションを実現
- ・全社朝礼を臨場＋オンライン開催＋アーカイブ配信で、場所や時間の制限に関わらず、経営メッセージを直接確認することが可能

II

仕事と育児・介護を両立させ活躍できるよう、法定を上回る休暇/休職制度や当社独自制度を設定。
その上で、近年はさらなる両立支援のため、主に以下のアクションを実施。

- ・育児:誰もが育児に参画しやすい環境作りに取り組むべく男性の育児参加に着目し、ワーク・ライフバランス社「男性育休 100%宣言」への賛同 / 男性育休を推奨する旨のメッセージの発信 / 男性育休に関する研修の実施等
- ・介護:介護中の社員が継続して活躍できる環境の整備
介護ポリシーの社内発信 / 専門家による相談窓口の設置 / 介護有無にかかわらず
全社員のリテラシー向上のための啓蒙活動(情報集約サイトの導入やセミナー等)の実施